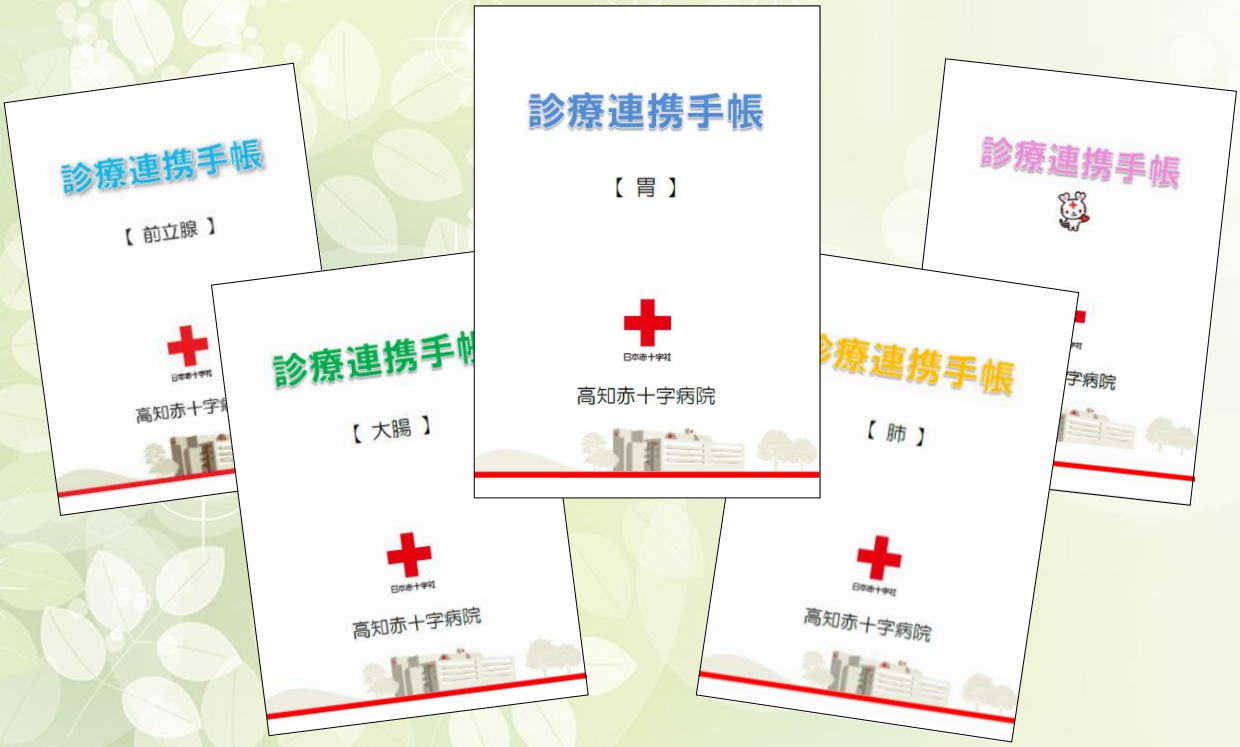
がん地域連携パスとは

がん地域連携パスは、がん患者さんが手術などの治療を受けたあとに、かかりつけ医と共同して診療を行っていくもので、当院では「胃がん」、「大腸がん」、「乳がん」、「肺がん」、「前立腺がん」について『地域連携パス』を活用しています。

対象となる患者さんには、『診療連携手帳』をお渡しし、地域のかかりつけの病院や診療所と役割分担をしながら、患者さんの診療計画、検査結果、治療計画を共有して、切れ目のないがん診療を継続していきます。

この『診療連携手帳』を利用することで、患者さんの主治医が複数となり、病状に変化があった時には早期発見やきめ細かい対応が可能となります。